

当院を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	Dual Energy CT (DECT)を活用した喀血の責任部位診断の確立
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 天野哲也
研究責任者	(所属) 放射線科 (職名) 助教 (氏名) 岡田浩章
研究の対象となる方	2024 年 5 月から 2029 年 10 月にかけて喀血のため当院で CT を撮像され、血管内治療（気管支動脈塞栓術）を施行された患者さん。
研究期間	研究実施承認日～2031 年 3 月 31 日
研究目的及び利用方法	〔研究目的〕 慢性炎症に伴う喀血は血管塞栓術前に原因血管の同定が困難です。通常、喀血部位の確定はカテーテルによる血管撮影でのみ確定されます。仮に術前の造影 CT で原因血管を確定できれば、治療の短縮や治療の効率化に役立つことが予想されます。本研究の目的は、術前に喀血部位予測の検査方法を確立することです。 〔利用方法〕 喀血に対して術前に撮影された Dual Energy CT (通常の造影 CT より多くの解析情報が得られる CT です。検査自体は普段行われる造影 CT と変わりありません。) と術中の血管撮影画像を対比し解析することで、術前に喀血部位を診断できるかどうか明らかにします。 〔外部への試料・情報の提供〕 非該当 〔外部への提供開始日〕 非該当
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：非該当 情報：診療録(カルテ)から年齢、性別、CT 画像、血管撮影画像等を収集
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	非該当
試料・情報を利用す	非該当

る学外の者	
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2031 年 2 月 28 日までに郵送、メール送信、窓口での受付、電話等により下記問い合わせ先まで申し出てください。
外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学病院 放射線科 担当者：(職名)助教 (氏名)岡田 浩章 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又 1 番地 1 電話 0561-62-3311 (内線 22833) okada.hiroaki.026@mail.aichi-med-u.ac.jp